



西村まゆ彦さんによる授業

〜夢☆あこがれ授業〜

いわぬま健幸大使で俳優の西村ま彦さんが、岩沼南小学校の6年生を対象に「夢☆あこがれ授業」を行いました。授業では俳優になるまでのお話や表現の仕方を、児童たちへ熱心に指導しました。最後に西村さんは「自分の可能性を広げるためにも素直でいることは大切。さまざまなこと挑戦し、夢を育んでほしい」とエールを送りました。

また、授業に先立っていわぬま健幸大使の委嘱状交付式も行われ、「今後も岩沼のためにできることをしていきたい」と、引き続き平成35年3月31日まで大使を引き受けていただきます。



▲児童に表現の仕方を指導する西村さん

きれいな音色に癒されて

〜スクールコンサート〜

岩沼北中学校で、仙台フィルハーモニー管弦楽団による「スクールコンサート」が行われ、生徒250人が参加しました。

楽器の紹介コーナーや、お話と演奏を交互に行う曲目などがあり、生徒たちはきれいな音色を楽しんでいました。

楽器体験コーナーでは、生徒2人がウッドブロックという打楽器に挑戦しました。生徒たちはリズムに乗って軽快な音色を奏でていました。体験した生徒は「難しかったが楽しかった」、「プロの演奏家に混ざって貴重な経験ができた」と話していました。



▲ウッドブロックを体験する生徒

災害への心構えと知識を

〜夏休み防災キャンプ〜

玉浦コミュニケーションセンターで、玉浦地区子ども会育成会と市の共催による「夏休み防災キャンプ」が開催され、玉浦小学校の児童150人が参加しました。

1〜3年生は〇×クイズなどで防災を学び、4〜6年生は多賀城高校と巨理高校の生徒と一緒に、岩沼市の凶面にハザードマップの避難場所を書き込む図上訓練を行いました。

1〜3年生がダンボールで仕切りを作り、夜に4〜6年生の70人がこの仕切りを使って宿泊し、仮の避難所生活を味わいました。さらに、避難訓練や救急救命講習を通して災害への心構えを学びました。



▲ダンボールを使い、避難所生活を体験しました

ビール片手に大にぎわい

〜いぎなり冷っこいルービー飲むすべ〜

岩沼駅前広場で、岩沼の夏の風物詩となった岩沼市商工会青年部主催の「いぎなり冷っこいルービー飲むすべ? 第5杯目」が開催されました。

冷たいビールのほか、岩沼いなりやハンバーガー、串焼きなどが販売され、大人も子どもも楽しんでいる様子でした。

ステージでは、岩沼出身のアーティストや子どもたちによるパフォーマンスのほか、手品やお笑いライブも行われました。駅を利用している仕事帰りの方の参加も見られ、会場は大いに盛り上がりました。



▲会場はたくさんの人でにぎわっていました



イベントや身近なできごとを紹介します。情報がある場合は、さわやか市政推進課(☎内線643・644)にご連絡ください。

7/28



▲真剣勝負をする高校生剣士たち

会場に熱気あふれる

～第30回全国高校生銃剣道大会～

総合体育館で、「第30回全国高校生銃剣道大会」が行われました。今年は30都道府県、71チーム203人が参加し、頂点を目指して戦いました。会場には「一突入魂」など、選手を応援する幕が張られ、声援や拍手が飛びかいました。大会の結果は左記のとおり(優勝のみ掲載。敬称略)です。

団体戦 尽誠学園高校A、個人戦1年生 堀口響(名寄)、個人戦2年生 堀口響(名寄)、個人戦3年生 寒河江優斗(旭川実業高校)、個人戦女子 寒河江瑞希(名寄) ※名寄は名寄ピヤシリ少年団。

7/29



▲初めての弓道を楽しみました

青少年スポーツの発展へ

～日独スポーツ少年団同時交流～

竹駒神社^{きまづじんじゃ}修^{しゅう}殿^{でん}で、弓道体験が行われました。これは日独のスポーツ少年団の相互交流により、友好と親善を深め、国際的能力を高めることを目的とする「日独スポーツ少年団同時交流」の一環として行われたもので、ドイツのスポーツ少年団9人が参加しました。

当日は、竹駒弓道会と名取高校弓道部の皆さんがボランティアとして参加し、訪問団員に弓道の基礎を指導していました。

参加した団員からは「ドイツでもやる機会があれば、ぜひやりたい」と今後の交流につながる感想が聞かれました。

7/30



▲最後は、いわぬまひつじ村で記念撮影をしました

岩沼で夏を満喫

～尾花沢市と岩沼市の小学生交流～

友好都市である尾花沢市との「小学生交流」が行われ、尾花沢市からは24人、岩沼市からは20人の小学生が参加しました。

歓迎式の後、一緒に航空大学校、仙台空港、千年希望の丘、いわぬまひつじ村を見学しました。

航空大学校では格納庫の見学やフライトシミュレーターの体験などを行い、普段行うことのできない体験に小学生は歓声をあげて喜んでいました。

さまざまな体験を通じて両市の小学生の交流が深まった一日となりました。

7/31



▲大声援に見送られ、出発しました

被災地をリレーでつなぐ

～未来への道～

1000km縦断リレー2018

青森から東京まで東日本大震災の被災地をランニングと自転車をつなぐ「1000km縦断リレー2018」が7月24日～8月7日の全15日間にかけて開催され、7月31日に千年希望の丘相野釜公園内で、たすきの中継が行われました。

当日は、名取市下増田公民館からのランナー5人を迎え、参加者たちによる黙とうが行われました。

その後、次の中継所である巨理町中央公民館へと向かう2人のライダーは、大勢の温かい拍手と声援に見送られ、力強く出発していきま